

がまごおり

スポーツ推進だより

編集発行

蒲郡市港町17-17

生命の海科学館 体育課内

蒲郡市スポーツ推進委員会

広報部会 No. 32

(66-1222)

平成30年3月31日発行

東海四県スポーツ推進委員研究大会 岐阜大会

三谷地区 青木尚登さん

おめでとうございます！！

第65回東海四県スポーツ推進委員研究大会が、2月16日(金)～17日(土)の2日間、約2,000名の参加で岐阜県下呂市にて開催されました。今大会の会場は、まだ雪の舞う下呂市内を一望できる立地で非常にコンパクトでありながら、スポーツのみにとどまらず下呂の文化を伝えることができる魅力的な施設【下呂交流会館「アクティブ」】でした。



蒲郡市スポーツ推進委員参加者一同

大会第1日目には、開会式・表彰式が行われ、平成29年度東海四県スポーツ推進委員功労者表彰として約100名の方が表彰されました。蒲郡市からは三谷地区 青木尚登さんが

功労者表彰を受けられました。長年のご功績を称えらるとともに今後のさらなるご活躍を期待しています。

スポーツ推進委員の表彰は文部科学大臣表彰を最高位として、下記のような種類があります。



《スポーツ推進委員表彰の種類》

- | | | |
|---------------|-------------|------------------|
| ○文部科学大臣表彰 | ○全国優良団体表彰 | ○30年勤続スポーツ推進委員表彰 |
| ○全国功労者表彰 | ○中ブロック功労者表彰 | ○東海四県功労者表彰 |
| ○愛知県20年・10年表彰 | | ○東三河15年・5年表彰 |



次に、アトラクションとして下呂市出身のパラダンサー【大前光市さん】のダンスを観賞しました。大前さんは、大学在学中より世界から注目を集めるダンサーの1人で、海外のバレエ団でもプリンシパルをはれる日本を代表する男性ダンサーとして活動に脂がのってきた矢先の24歳の時に、交通事故で左ひざ下の切断を余儀なくされました。

ダンスを諦め、日常生活もままならない中で、ダンスへの情熱を心のどこか

で諦めきれないという苦悩を乗り越え、パラダンサーとして活動を再開されました。片足でも踊り続ける為に、ヨガや武道、新体操等幅広いジャンルの動きを学び、さらに、義足にもこだわり抜き、作品に合わせて長短様々な義足を使うことで世界にふたつとないダンススタイルを確立しました。2016年のリオパラリンピック開会式でもダンスを披露されました。2017年の第68回NHK紅白歌合戦では歌手の平井堅さんとコラボし、平井さんの歌とシンクロするダンスを披露されました。

メンタルの切替の重要性

大前さんの自伝講話の中で参考にしたいことがあります。【メンタルの重要性】です。

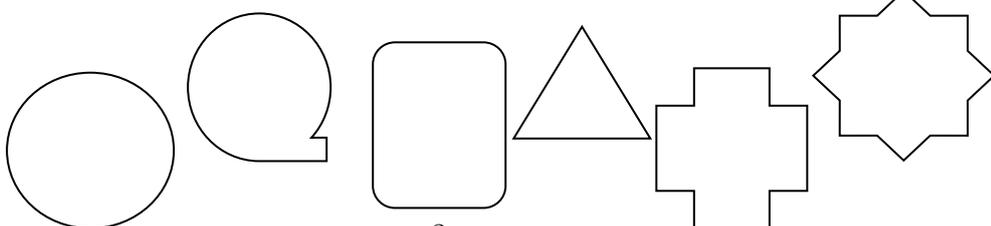
メンタルは、各種スポーツはもちろんのこと、あらゆる日常の場面等でも私たちの活動の源となるいわばエネルギーの生産拠点です。

大前さんの場合、

《世界的ダンサーを目指し、努力》⇒《世界的ダンサーの期待の1人↑↑》⇒《事故に遭い、足を切断↓↓》⇒《人生が終わった、ダンスできない↓↓↓》という状況で、メンタルが1度はどん底まで落ちたところで、【自分はカタチが変化・進化した】と心持ちを変え、《自分には人には出来ないことができるのではないか？》《これまでより幅を広げる機会》と捉えました。大前さんの場合には、当然相応の経験や努力がりましたが、メンタルの切替が片足の（当然ものすごいバランス技術を要する）、義足を最大限に活かしたダンスを生む原点・きっかけとなり、世界を魅了する原動力となったのです。

【失敗や意図しない変化】を、残念がる必要はなく、【人とのちがいを、個性として出すチャンス】と切り替えることができれば、道は開けてきます。日常生活や日頃のスポーツでも失敗や行き詰まりそうな時には、一服、ひと呼吸の間を取り、心持ちを変えてチャンスなのでは？と試してみることもいいのかもしれないね。

いろんなカタチ



第 18 回ユニホック大会 @蒲郡市民体育センター

塩津地区 畑田和彦

11 月 26 日(日)

蒲郡市民体育センター競技場にて第 18 回蒲郡ユニホック大会が行われました。ジュニアの部(小学生)5 チーム、一般混成の部(中学生以上女子 2 人以上含む男女)5 チーム、一般の部(中学生以上)4 チーム、総勢 100 名ほどの方々が参加されました。

大会前にユニホック教室(毎週水曜日計 4 回)の練習で上手になったジュニアの子供たち、腕前を上げた一般の方々が熱戦を繰り広げました。

試合は各クラスで予選を行い、予選 1 位と 2 位で優勝決定戦、予選 3 位と 4 位で 3 位決定戦を行いました。また、全ての試合の後にエキシビションとして一般混成の部と一般の部の優勝チームが試合を行い、一般混成の部の勝利で全日程を終えました。

今年は開会式に今枝宗一郎衆議院議員からの激励の言葉をいただき、最高に盛り上がった大会になりました。

結果は

【一般混成の部】

優勝 GH ファイトクラブ

準優勝 GH スピードスターズ

3 位 塩津ドリーム

【一般の部】

優勝 スミレ会

準優勝 東部公民館

3 位 塩津パラダイス

【ジュニアの部】

優勝 ミラクル

準優勝 スターコイン

3 位 かえるびよこびよこみびよこびよこ合わせびよこびよこむびよこびよこ



第34回三河湾健康マラソン大会 @蒲郡市民会館付近

府相地区 大場千枝美

立春を過ぎても寒さ厳しい中、お隣り韓国では冬季平昌オリンピックが熱く開催されました。

さて、今年も恒例第34回三河湾健康マラソン大会が蒲郡市民会館を発着地点として、行われました。

3キロジョギングコースと男女別、世代別に順位を競う10キロコースに子どもから80代ランナーまでの約3,000人が寒風の厳しさの中、元気に飛び出しました。

今年はスタート前の開会式で蒲郡出身のランナー【三田裕介さん】によるお尻の筋肉を使うトレーニング方法の指導があり、大会を盛り上げて下さいました。

私は10キロコースにランナーとして参加しました。ここ数年で10キロにも多くの小さい子どもの参加があり、とても頼もしく思いました。ただ、大会が行われたこの日は大変な強風が吹き、10キロコース最後の港橋に向かう直線コースは特に小さい子どもの足にとっては気の毒なほど過酷でした。足をとられ、転倒してしまった子もいたようです。また、他にも救急車の出動もあったようで心配と不安の空気が会場中に漂いました。

その一方で、会場の出店ブースでは、例年以上に多くの店が自慢の一品【ガマゴリうどん】に【アカザエビラーメン】、【焼きたてパン】などを提供し、冷えた選手たちの身体を温めてくれました。

私たちスポーツ推進委員も受付、設営、給水、最後の後片付けなどで大会運営に協力し、貢献できたと思います。

最後に、走ることは心臓や体に大きな負担をかけます。ランナーの皆様にはしっかりと練習・準備をしてから楽しく大会に臨んでほしいと思います。そして私自身、健康第一でまた来年に向けて早速今日から走りたいと思います。大会関係の役員、ボランティアの方、スポーツ推進委員の方々お疲れ様でした。

《平成30年度の前期行事》

前期の行事予定					
とき	行事名	内容	対象	定員	申込×切
7/28(土)	蒲郡まつり (ニュースポーツ)	ニュースポーツ フェスティバル	なし	なし	不要
8/26(日)	SNAGゴルフ大会	SNAGゴルフの市内大会	未定	未定	未定

《平成30年度 委員の変更について》

地区	新 名前	経験年数		旧 名前
府相	鈴木健司	5年	⇒	
東部	小田正弘	3年		小田晴雄
北部	西山和郎	2年		鈴木嘉孝
西部	永島一雄	3年		鈴木規正
形原	前田康司	6年		尾崎和広
	金子明美	2年		稲吉淳二
西浦	西井マリ	14年		壁谷美由紀
中小体連	大塚博康	2年		山口大輔
推薦枠	該当なし			五十嵐照樹